

津波のひなん方法を考える シンポジウム

(津波に強い建築を活用した津波減災を考える)

令和6年能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。この地震では、津波も発生し、多くの方々が被害を受け、元日の出来事であったため、多くの人々に大きな衝撃を与えました。東北地方太平洋沖地震の発生から、今年で14年目となりました。3.11を経験していない世代も増えている現在、将来起こるかもしれない地震に備えて、この機会に津波のひなん方法について皆さんで考えてみませんか。

概要

主催：日本建築学会東北支部「津波に強い建築を活用した津波減災研究委員会」

開催日時：2025年3月15日（土）13:00~16:00

会場：東北工業大学八木山キャンパス1号館 大教室(122教室)

参加費：無料(会員・会員外問わず) 申込不要、直接会場にいらしてください

プログラム

I 基調講演

「津波のひなん方法を考える」

- (1) 齋藤徳美氏 岩手大学名誉教授
テーマ「津波の避難方法を考える～日本海溝北部の巨大地震へ、課題は山積」
- (2) 今村文彦氏 東北大学 災害科学国際研究所教授
テーマ「津波の「ひなん」方法を考える」

II 学校建築と津波ひなんを考える

- (1) 井上 剛氏 旧山元町立中浜小学校 元校長
テーマ「震災を乗り越えて」～避難を決断することは～
- (2) 田中礼治氏 東北工業大学名誉教授
テーマ「学校建築について」
- 小関勝男氏 小関構造設計室
テーマ「あの日、長い日」
- 鈴木 清氏 建築防災マネジメント支援機構代表理事
テーマ「津波から命を救った建物」

III パネルディスカッション（津波のひなん方法を参加者全員で考える）

モデレーター 田中礼治 東北工業大学名誉教授

総合司会 船木尚己 東北工業大学教授